

レッドベルディエスの23

全400口 | 1口出資額90,000円(税込) | 総額3,600万円(税込)

生産牧場 坂東牧場 育成牧場 坂東牧場(予定)



母が描いた3歳春の夢を再始動、強靱な父の血が戴冠の瞬間を生む

現時点における馬体の特徴と適性

共にG2デイリー杯2歳Sを制したレッドベルジュール、レッドベルオープの全姉となる母は、3勝クラス飛鳥Sを含め、芝1600~1800m戦で計4勝をマーク。また、G3紫苑S4着、G3クイーンC5着と、重賞でも好走を示した後、6歳春から繁殖生活に入りました。その初仔となる本馬は、初年度産駒から牝馬三冠馬デアリングタクト、2年目の産駒からG1戦3勝の年度代表馬エフフォーリア、2024年にはG1桜花賞馬ステレンボッシュを誕生させた名種牡馬エピファネイアを配合相手に迎え誕生した牝駒です。軽快さを保持した首差し、やや薄手ながら、胸筋がしっかりと付いた胸前、腰にかけてのラインが綺麗でゆったりとした背中、形状が良く力感も備えたトモ、伸びの良い胴といったパーツを持つ馬体は、均整が取れている上に、柔軟性にも優れています。脚向きなどに問題がない前肢、飛節の可動域が大きく、踏み込みの強さを生み出している後肢と、脚元が丈夫な点も有力なセールスポイント。気性も素直なだけに、育成過程のステップを極めて順調に踏んでいき、2歳夏のデビュー戦から、トップギアに入る際立つ走りを披露してくれると思います。

鹿戸雄一調教師コメント

自厩舎で活躍してくれたレッドベルディエス。母となり初めての産駒を預かることができ、とても光栄に思います。ご存じの通り、ベルディエスは圧倒的な瞬発力を発揮するなど、秘めた能力は極めて高い存在でした。ただ気持ちが強く、レースでもハミ受けの難しいところがありました。本馬を見ると、歩様などではファイト気味になるものの、人に対しては従順な面があり、そこまで気性を心配するには及ばないと思います。初仔で線はやや細く映りますが、その辺りは父エピファネイアの成長分間違いなくバックアップできると信じています。母にはクラシック出走と重賞タイトル獲得の夢を実現させることができませんでした。本馬でそのリベンジを果たしたいと願っています。また父の産駒も母の特徴も、手の内に入っているつもりですから、何が何でも結果が出せるように頑張ります。

	クリスエス	Roberto
*シンボリクリスエス	Kris S.	Sharp Queen
Symboli Kris S		
黒鹿 1999	ティーケイ	Gold Meridian
エピファネイア	Tee Kay	Tri Argo
Epiphaneia		
鹿 2010	スペシャルウィーク	*サンデーサイレンス
シーザリオ	Special Week	キャンペンガール
Cesario		
青 2002	*キロフプリミエール	Sadler's Wells
	Kirov Premiere	Querida
メス		
黒鹿毛		
2023.4.7生		
	*サンデーサイレンス	Halo
ディーブインパクト	Sunday Silence	Wishing Well
Deep Impact		
鹿 2002	*ウインドインハーヘア	Alzao
レッドベルディエス	Wind In Her Hair	Burghclere
Red Belle Deesse		
鹿 2016	アンブライドルズソング	Unbridled
*レッドファンタジア	Unbridled's Song	Trolley Song
Red Fantasia		
黒鹿 2010	キャットチャット	Storm Cat
	Cat Chat	Phone Chatter

サンデーサイレンス:M3×S4 Hail to Reason:S5×M5



管理予定調教師

鹿戸雄一調教師(美浦)

◆1962年5月23日生 ◆2008年開業(17年目) ◆JRA通算441勝 ◆JRA重賞14勝 ※成績は2024年4月30日現在

【主な管理馬】

- エフフォーリア:有馬記念(G1)、天皇賞・秋(G1) ●スクリーンヒーロー:ジャパンC(G1)
- エフティマイア:桜花賞(G1)2着、オークス(G1)2着 ●スマートオリオン:オーシャンS(G3) ●ビッシュ:紫苑S(G3)、オークス(G1)3着
- ウインカーネリアン:東京新聞杯(G3) ●フォーエバーモア:クイーンC(G3) ●ベストアクター:阪急杯(G3)
- セットアップ:札幌2歳S(G3) ●レッドセシリア:阪神JF(G1)3着



ファミリー(母系)

母の父 ディーブインパクトは早来産、年度代表馬(2回)、12勝、三冠、ジャパンC-G1。総合・2歳チャンピオンサイアー。主な産駒:オーギュスト ロダン(英ダービー-G1)。【BMS:主な産駒】プロウアウト(ファースト レイディS-G1)、キセキ(菊花賞-G1)、ジェラルディーナ(エリザベス女王杯-G1)、ドルチェモア(朝日杯フューチュリティS-G1)、プレイディヴェーグ(エリザベス女王杯-G1)

母 レッドベルディエス(16 ディーブインパクト)4勝、飛鳥S(芝1800m)、鷹巣山特別(芝1600m)、織姫賞(芝1800m)、紫苑S-G3 4着、クイーンC-G3 5着。本馬が初仔

祖母 *レッドファンタジア(10 Unbridled's Song)米国産、わが国で入着。産駒

レッドベルオーブ(牡 ディーブインパクト)3勝、デイリー杯2歳S-G2、小倉日経オープン-OP、朝日杯フューチュリティS-G1 3着、しらかばS-OP 3着、[Ⓜ]

レッドベルジュール(牡 ディーブインパクト)2勝、デイリー杯2歳S-G2。種牡馬

レッドベルアーム(牡 ハーツクライ)2勝、シンザン記念-G3 3着、東京スポーツ杯2歳S-G2 5着、[Ⓜ]

レッドベルローズ(牝 ディーブインパクト)3勝、ミモザ賞、フェアリーS-G3 3着

曾祖母 キャット チャット Cat Chat(98 Storm Cat)北米3勝、ナッソー カウンティS-G2。産駒

*インランジェリー In Lingerie:北米4勝、スピンスターS-G1、ブラックアイド スーザンS-G2、バーボネット オークス-G3、アラバマS-G1 2着、C C A オークス-G1 3着。産駒

インラグジュアリー:不出走。モズメイメイ(チューリップ賞-G2)の母

ブライド トッピー Bride to Be:北米3勝。産駒

グルームズ オール ビジネス Grooms All Bizness:北米4勝、Get Serious S、Carle Place S 2着、My Frenchman S 3着、Select S 3着、ターフ モンスターS-G3 4着

セクト Sekmet:北米入着。産駒

マジョレル Majorelle:不出走。サーヴェイランス Surveillance(Duncan F. Kenner S-L)の母

配合診断

多数のG1馬を輩出してきた黄金配合の母、スタミナ型の父を迎え女王の座へ

母レッドベルディエスは「ディーブインパクト×Unbridled's Song」という最強ニックスから誕生しました。出走24頭中23頭が勝ち上がり、コントレイル(三冠、ジャパンC)やダノンブラチナ(朝日杯フューチュリティS)を生み出した黄金パターンです。母は現役時代、紫苑S(G3)4着、クイーンC(G3)5着という成績を残し、その全弟にレッドベルジュール(デイリー杯2歳S)とレッドベルオーブ(デイリー杯2歳S)がいます。本馬の「エピファネイア×ディーブインパクト」という組み合わせは、アリストテレス(アメリカJCC)やエピファニー(小倉大賞典)と同じ。母のニックスは、仕上がりの早さ、高速馬場での強さ、瞬発力など、日本競馬に最適化した要素を伝えるので、スタミナ型の父との組み合わせは、クラシック向きの配合構成として申し分ないでしょう。